

えひめの子どもたちへのメッセージ

～みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために、確かな行動に表そう～



県内すべての小中学校をオンラインでつなぐ「えひめいじめSTOP!」デー。以前は、小中学校の代表者による「子ども会議」等を開催していましたが、コロナ禍で一か所に集まるのが困難になったため、オンライン形式での開催に変更したところ、全国でも類を見ない愛媛県ならではの取組として、小学6年生と中学1年生を中心に約23,000人が参加し、みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために、事前に配信したミニ動画や演劇による問題提起、リアルタイムでのアンケートなどを通して、熱心な議論が行われました。その中で意見として出された、「自分自身を見つめること」や「友達の個性や考えの違いを認めること」は、ライブ授業でもお話をあった「人とよりよく関わる方法」に通じるものであり、児童生徒の皆さんがいじめ問題に真剣に向き合っている大変心強く感じました。

3年目となる今年度は、「みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために」をテーマに、事前に配信したミニ動画や演劇による問題提起、リアルタイムでのアンケートなどを通して、熱心な議論が行われました。その中で意見として出された、「自分自身を見つめること」や「友達の個性や考えの違いを認めること」は、ライブ授業でもお話をあった「人とよりよく関わる方法」に通じるものであり、児童生徒の皆さんがいじめ問題に真剣に向き合っている大変心強く感じました。

「えひめいじめSTOP!」デーは、いじめ問題の解決に向けた一つのステップです。次のステップは、皆さんが、今後、確かな行動につなげていくことです。話し合いができたことを、日常の行動に表すことで、変化が生まれます。はじめの変化は小さくても、積み重ねていけば、必ずや大きな変革をもたらすことができます。いじめの起こりにくい学級・学校づくりに向け、皆さん一人ひとりが考え、実践してほしいと願っています。

保護者や地域の皆様、子どもたちが学校で安心して学べる環境をつくるためには、いじめ問題について当事者意識をもって考え、地域社会全体で人を尊重する精神の涵養や、いじめを見逃さない雰囲気醸成することが大切であると考えます。子どもたちの考えや意見を尊重しながら、豊かな感性を育み、見守り、支えていただきますようお願いいたします。

最後に、「えひめいじめSTOP!」デーの開催に当たり、ご理解とご協力をいただいた皆様に、心から感謝申し上げます。

愛媛県教育委員会
人権教育課
2024年(令和6年)
2月発行

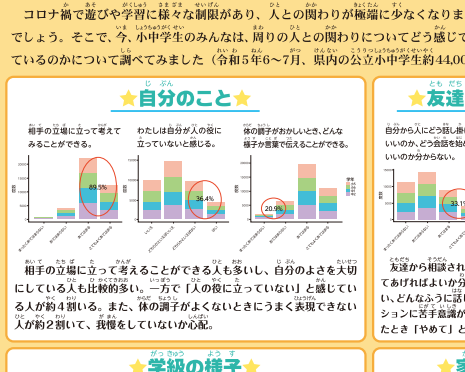
えひめ愛顔の子ども新聞



小5～中2のみんなに聞いてみた!

自分のこと・友達のこと・人とつながること

コロナ禍で遊びや学習に様々な制限があり、人と関わりが極端に少なくなりました。寂しい思いを経験した人も多かったことでしょう。そこで、今、小中学生のみんなは、周りの人との関わりについてどう感じているのか、それが心や体の健康とどうつながっているのかについて調べてみました(令和5年6～7月、県内の公立小中学生約44,000人を対象にアンケートを実施しました)。



みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために

県内一斉ライブ授業 えひめいじめSTOP!」デー」開催

令和5年11月16日(木)、宇和島市立南予文化会館をメイン会場に、県内すべての市町をオンラインでつなぐ一斉ライブ授業「えひめいじめSTOP!」デーが開催されました。小学校6年生と中学校1年生を中心に約23,000人が参加し、みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるためにはどうすればよいかについて話し合い、考えを深めました。

ライブ授業の前半では、昨年と同じように劇を鑑賞し、自分が劇の登場人物の立場だったら、どのような行動を取るのかについて各学級で話し合いました。リモートでつながった6校から、「そっとしておいてほしい気持ちと声を掛けてほしい気持ちがある」など、多様な意見が出されました。後半は、「みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために必要なこと」についてライブアンケートを実施。約18,000人からの回答は、「普段から様々な人と関わること」「意見を最初から否定せず、まずは受け止めることが大切」といった意見など、何でも言い合える環境や人との信頼関係をつくることの大切さについての意見が熱く交わられました。

ライブ授業前

今年もセンター校とリモート校では、「事前ワークショップ」を行ったよ。ゲームを通して、友達のことを知ったり、演劇ワークショップで相手の立場に立って考えたりしたよ。

センター校

○宇和島市立鶴島小学校
○宇和島市立岩城中学校

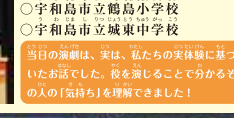
当日の演劇は、実は、私たちの実体験に基づいたお話でした。役を演じることで分かった人の「気持ち」を理解できました!

ライブ授業前半

この劇を鑑賞して、もし自分が主人公だったらどうするか、その立場だったらどうするか、考えながら、人との違いや、その違いを認め合うことについて話し合っていました。

リモート校

○新居浜市立中萩小学校
○上島町立岩城中学校
○伊予市立北山崎小学校
○松山市立余土中学校



6年生、ハイ!

授業中、急に明日の全校集会の司会進行を決めることにみんなが嫌がる中、勇気を出して手を挙げたきょうか。最初は、みんなきょうかを否定するが、きょうかの頑張る姿にみんなの心が動かされていく...

サテライト校 408校

今年もライブ授業の前夜にミニ動画を見て、ご自身の生活を見直したり、クラスで話し合ったりしたよ。

劇を通して話し合ったこと

「きょうか、目の前にいたら、どう関わる?」
「しんが、目の前にいたら、どう関わる?」
「自分が、しんだったら、どうしてほしい?」

先生方から

子どもたちは考えたことを伝える力もよくなりました。自分から言えるまで待ちたい。人間関係について真剣に話し合っている姿勢がとても素晴らしい。この授業をきっかけにもっと考える人になってほしい。とよく関わり合えるのはとても嬉しい。みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために、これからも話し合おうと頑張りたい。自分自身を見つめること、友達の個性や考えの違いを認めること、人とよりよく関わる方法、これら3つを大切にしたい。自分自身を見つめること、友達の個性や考えの違いを認めること、人とよりよく関わる方法、これら3つを大切にしたい。

相談窓口

いじめ相談ダイヤル24
SNS相談はっとえひめ
中高生専用

気軽に相談してね

いじめ相談ダイヤル24
SNS相談はっとえひめ
中高生専用

5分間のショートストーリー

今年もライブ授業の前夜にミニ動画を見て、ご自身の生活を見直したり、クラスで話し合ったりしたよ。

先生方から

子どもたちは考えたことを伝える力もよくなりました。自分から言えるまで待ちたい。人間関係について真剣に話し合っている姿勢がとても素晴らしい。この授業をきっかけにもっと考える人になってほしい。とよく関わり合えるのはとても嬉しい。みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために、これからも話し合おうと頑張りたい。自分自身を見つめること、友達の個性や考えの違いを認めること、人とよりよく関わる方法、これら3つを大切にしたい。自分自身を見つめること、友達の個性や考えの違いを認めること、人とよりよく関わる方法、これら3つを大切にしたい。

先生方から

子どもたちは考えたことを伝える力もよくなりました。自分から言えるまで待ちたい。人間関係について真剣に話し合っている姿勢がとても素晴らしい。この授業をきっかけにもっと考える人になってほしい。とよく関わり合えるのはとても嬉しい。みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために、これからも話し合おうと頑張りたい。自分自身を見つめること、友達の個性や考えの違いを認めること、人とよりよく関わる方法、これら3つを大切にしたい。自分自身を見つめること、友達の個性や考えの違いを認めること、人とよりよく関わる方法、これら3つを大切にしたい。

スペシャルゲスト あばれる君

小中学生の真剣な話し合いや、熱のこもった演劇を振り返りながら、「悩んでいるときには、友達に話すことで楽になることもある。気軽に話せる関係性をつくっておくことが大切」と、笑顔を交えて話し合いを盛り上げました。また、日頃の友人とのよりよい関係づくりについては、「自分に厳しくしすぎないといひ。そう考えることで自分は楽になった」と、自らの経験を交えて、子どもたちにエールを送りました。

アドバイザーから

西原勝利先生 (愛媛県教育カウンセラー協会代表)

「みんなが安心して過ごすことのできる学級・学校をつくるためには、日頃の関わりが大切」とアドバイスをされました。子どもが気になる友人がいたら、「大丈夫?」「直にできることがあったら言ってね!」といった声掛けができるような仲間づくりをしておくことが大切と、お話されていました。また、「自分の短所は長所になることもある。物事をポジティブに考えるリフレーミングを行うことで、もっと自分に自信をもってほしい」と、エールを送られました。

ライブ授業後半

「みんなと違うな」と感じることに
「みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために」

まとめ

「みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために」

「みんなと違うな」と感じることに
「みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために」

「みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために」

ライブ授業中に聞きました

わたしのホンネ

先生方から

先生方から

先生方から

先生方から

先生方から

先生方から

先生方から

先生方から

先生方から

先生方から

先生方から

先生方から

先生方から

先生方から

先生方から

先生方から

先生方から

令和5年度 人権ポスター特選作品

人権尊重の意識を高めるためのポスター展

令和5年度は、小学校・中学校・高等学校等から計45,135点の作品が寄せられ、審査の結果、5点が特選作品として選ばれました。

「見えなからこそ 敬愛と愛を」

西条市立南予東中学校 3年 越智 彩葉 さん

「お互いの見えなからこそ 敬愛と愛を」

「人生 自分で」

愛媛県立今治高等学校 1年 木原 涼帆 さん

「人生は自分で決める権利がある。本人以外が僕の人生を勝手に決めないでほしい。自分で決める権利がある。本人以外が僕の人生を勝手に決めないでほしい。」

「心を通わせて 個性を認め合おう」

八幡浜市立立戸小学校 6年 吉川 陸 さん

「心を通わせて 個性を認め合おう」

「人生 自分で」

愛媛県立今治高等学校 1年 木原 涼帆 さん

「人生は自分で決める権利がある。本人以外が僕の人生を勝手に決めないでほしい。自分で決める権利がある。本人以外が僕の人生を勝手に決めないでほしい。」

ライブ授業後アンケート

「いじめSTOP!」デー後のアンケートに、たくさんの回答・意見が届けられました。

項目	割合
話をよく聞くこと	10.83%
話をよく聞くこと	11.24%
お互いを大切にすること	12.19%
お互いを認め合うこと	10.95%
失敗や苦しみは仕方ないこと	9.68%
その他	

先生方から
子どもたちは考えたことを伝える力もよくなりました。自分から言えるまで待ちたい。人間関係について真剣に話し合っている姿勢がとても素晴らしい。この授業をきっかけにもっと考える人になってほしい。とよく関わり合えるのはとても嬉しい。みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために、これからも話し合おうと頑張りたい。自分自身を見つめること、友達の個性や考えの違いを認めること、人とよりよく関わる方法、これら3つを大切にしたい。自分自身を見つめること、友達の個性や考えの違いを認めること、人とよりよく関わる方法、これら3つを大切にしたい。